

録音日：2024(R6)0326

会話場所：蘭越町役場総務課前

反訳者：野村一也（原告）

町長

それより警察が来ました。私は警察の人に説明します。

野村

聞いていればいい。僕は不法なこと、警察に言われるようなことはしていない。そこで聞いて、問題があるかどうか判断してください。

警察官

こんにちは。

町長

町民が来ています。あまりにも大きな声を出すので、「少し静かに話してください」とお願いしました。それにも関わらず「自分は声が大きいから」と…

野村

そんなこと言っていないでしょう。僕は普通に話しています。努力しています。

町長

だから、どうしてそういう…

野村

記録に残っています。記録に残っています。

町長

みんなここで聞いているんですよ。

野村

僕が「自分の声が大きいから」と言いましたか？

町長

言ったでしょう。

野村

言っていません。普通に話しているだけです。

町長

それを私は…

野村

努力していると…

町長

努力って、どうしてそういう…

野村

「自分の声が大きいから」なんて言っていません。

町長

私は何度もお願いしました。町長として。ここは町民が集まる場所ですから、少し静かに話してくださいと。それができないから…

野村

できないのではなく「努力しています」と言っています。

町長

いや、努力はしているけど…

野村

努力はしていますが、あなた方がまともに回答しなければ声も大きくなります。

町長

だから声が大きくなるから、少し静かに…

野村

だから「個室に行きましょう」と言っているでしょう。他の人に迷惑にならないように。下には「用事がある方はいつでも来てください」と書いて

あるじゃないですか。

町長

ちょっと録音を切ってくれませんか、もう本当に…

野村

聞いていればいい。僕は何も…

町長

私はお願いしました。この施設は町民が利用する施設です。そこで1人が大声を出して騒げば、みんなが怯えます。そういうことはあってはならない。

野村

怯えているって、誰が？

町長

みんながそうやって…

野村

なぜ「みんな」と言い切れるんですか。